

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081
(郵便物送付/電話照会) 連絡先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国各支店
単元未満株式の買取 請求及び買増請求	単元未満株式の買取請求及び買増請求は、上記株主名簿管理人事 務取扱場所及び同取次所にて受付けております。 ただし、株券保管振替制度をご利用されている場合は、お取引の 証券会社にお申し出下さい。 また、買増請求は、3月31日から起算して12営業日前から3月31 日までの間及び9月30日から起算して12営業日前から9月30日ま での間はお取扱いができませんので、ご留意下さい。
公 告 方 法	電子公告 電子公告掲載 URL <a href="http://www.kissei.co.jp/">http://www.kissei.co.jp/</a> ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得な い事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部

●お知らせ  
住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式の買取請求及び買増請求に必要な各用紙、株式の相続手続依  
頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-244-479で24時間承っておりますので、ご利用下さい。

# 第 63 期 報告書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)



初夏の風渡る一梓川

# 目次

株主の皆様へ	P 2
業績ハイライト（連結・個別）	P 3~4
事業の概況（連結）	P 5
研究開発の状況	P 6
財務諸表（連結）	P 7~8
財務諸表（個別）	P 9~10
製商品の紹介	P 11
トピックス	P 12
株式の状況	P 13
会社の概要	P 14



橘の花

## 「キッセイ」の由来

「キッセイ」は1946年創立。当時は、初代社長・雨森正五郎の家紋である“橘”を冠した株式会社橘<sup>たちばなせい</sup>生<sup>か</sup>化学<sup>がく</sup>研究所としてスタートしました。翌年橘<sup>きつせい</sup>生<sup>せい</sup>薬品工業株式会社と改称され、1964年に現社名の「キッセイ薬品工業株式会社」となりました。

## 株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、当社第63期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）の事業の概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期の国内医薬品業界におきましては、後発品の使用促進やDPC（診断群分類別包括評価）の拡大などの医療費抑制策が浸透する中で、企業間の競争が激化するなど、事業環境はなお一層厳しさを増しております。

このような環境の中、「医薬品事業」では排尿障害改善薬「ユリーフ」を始め、新たな効能を取得いたしました糖尿病治療薬「グルファスト」及び口腔乾燥症状改善薬「サラジェン」など新製品の売上が大きく伸びました一方、パーキンソン病治療薬「カバサル」や「その他の事業」の売上が減少し、売上高は減収となりました。利益面につきましては技術料収入の増加や、原価率の大幅な改善などにより増益を確保いたしました。

研究開発面では、昨年4月にグルファストの効能追加の承認申請を行い、昨年6月にはユリーフの剤型追加の承認申請を行いましたほか、バイオ医薬品など各テーマの研究開発を積極的に推進いたしました。海外におきましては、シロドシン、ミチグリニドなど当社創製品の技術導出先における開発が計画通り進展しており、欧米市場での創製品の発売に向けての導出先との連携と的確な対応を進めております。

当社は中期経営計画「チェンジングプラン」（実行期間：平成20年4月～平成23年3月）を新たにスタートいたしました。その主要な経営方針として、①新薬の売上拡大により、国内市場における収益力を向上するとともに、②創製品の技術導出による安定的な海外収益基盤を構築し、③積極的な研究開発投資の継続により、特徴ある研究開発パイプラインの強化・充実を図ることに重点を置いております。これらの経営課題を強力に推進し、世界の患者さんに貢献できる創薬研究開発型企業として、更なる企業価値の向上に努めてまいります。

今後とも、株主の皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年6月

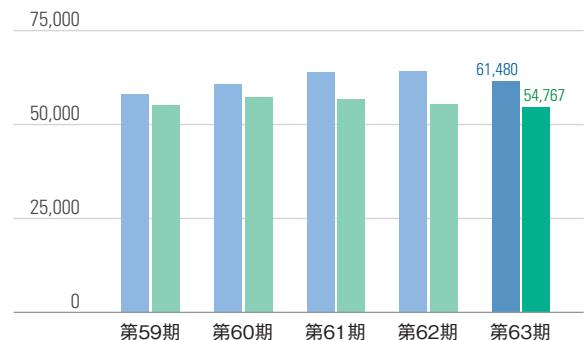


代表取締役社長 神津陸雄

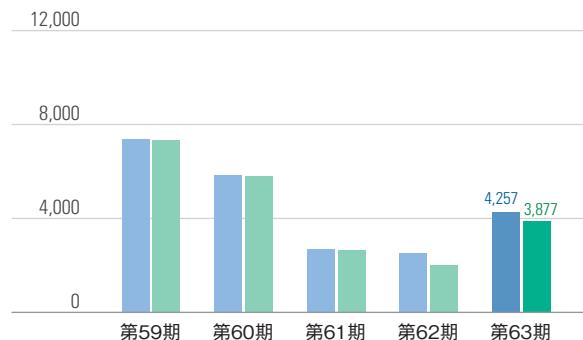
## 業績ハイライト（連結・個別）

■ 連結 ■ 個別

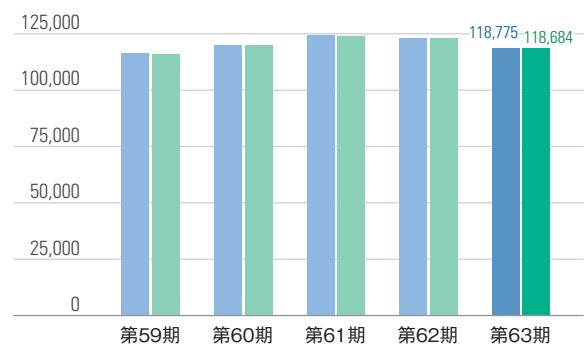
●売上高 (百万円)



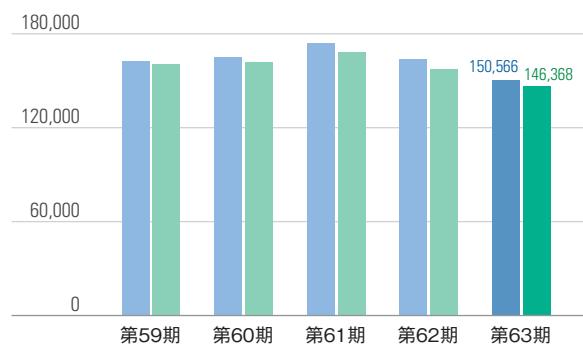
●経常利益 (百万円)



●純資産額 (百万円)



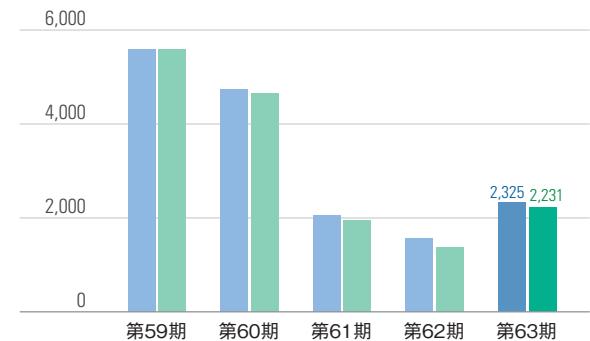
●総資産額 (百万円)



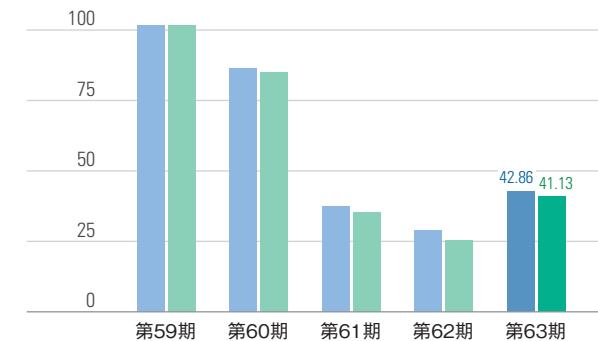
連結		第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
売上高	(百万円)	58,225	60,933	64,007	64,215	61,480
経常利益	(百万円)	7,389	5,813	2,700	2,520	4,257
当期純利益	(百万円)	5,599	4,734	2,045	1,570	2,325
純資産額	(百万円)	116,265	120,085	124,259	123,232	118,775
総資産額	(百万円)	162,841	164,943	174,114	163,583	150,566
1株当たり当期純利益	(円)	101.82	86.47	37.31	28.93	42.86
1株当たり純資産額	(円)	2,137.76	2,210.01	2,288.70	2,268.85	2,186.21
自己資本比率	(%)	71.4	72.8	71.4	75.3	78.8
自己資本当期純利益率	(%)	5.0	4.0	1.7	1.3	1.9

## 業績ハイライト（連結・個別）

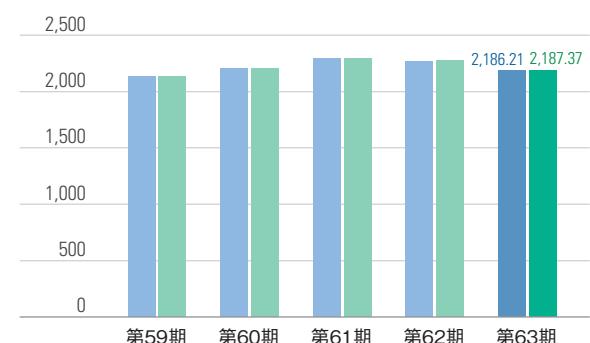
●当期純利益 (百万円)



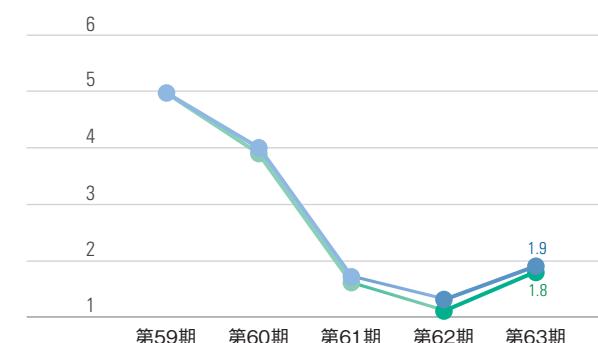
●1株当たり当期純利益 (円)



●1株当たり純資産額 (円)



●自己資本当期純利益率 (ROE) (%)



個別		第59期	第60期	第61期	第62期	第63期
売上高	(百万円)	55,178	57,236	56,642	55,579	54,767
経常利益	(百万円)	7,331	5,836	2,650	2,011	3,877
当期純利益	(百万円)	5,584	4,655	1,946	1,370	2,231
純資産額	(百万円)	116,026	119,841	124,679	123,326	118,684
総資産額	(百万円)	160,348	162,101	168,508	157,613	146,368
1株当たり当期純利益	(円)	101.54	85.00	35.49	25.26	41.13
1株当たり純資産額	(円)	2,133.36	2,205.51	2,296.43	2,273.00	2,187.37
自己資本比率	(%)	72.4	73.9	74.0	78.2	81.1
自己資本当期純利益率	(%)	5.0	3.9	1.6	1.1	1.8
資本金	(百万円)	24,219	24,219	24,219	24,221	24,271
発行済株式総数	(株)	56,795,185	56,795,185	56,795,185	56,796,454	56,838,791
1株当たり配当金	(円)	17	20	24	28	28

(うち記念配当：4)

## 事業の概況（連結）

### 当期の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、好調な新興国向けの輸出や増加基調を保つ企業の設備投資が牽引役となり、若干減速しつつも緩やかな景気の拡大基調が続きましたが、長期化する原油価格の高騰、米国経済の減速、円高ドル安の進展や株式市況の低迷など、懸念材料が多く景気の先行き不透明感が強まる中に推移しました。

医薬品業界におきましては、後発品使用促進を始めとする薬剤費抑制策などによる影響を引き続き受け、更に企業間競争の激化の影響もあり、一層厳しい状況にありました。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、企業収益の改善を背景としたIT投資需要などは堅調に推移しましたがものの、引き続き縮小基調にある公共事業投資に加え、改正建築基準法施行の影響による民間発注の減少や、厳しい価格競争が継続するなど、依然として熾烈な競争環境下にありました。

このような情勢の中で、医薬品事業におきましては、平成18年5月に発売いたしました前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ®カプセル」、昨年5月に効能追加（α-グルコシダーゼ阻害剤との併用療法）の承認を取得いたしました糖尿病治療薬「グルファスト®錠」及び昨年10月に効能追加（シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善）の承認を取得いたしました口腔乾燥症状改善薬「サラジェン®錠」の育成を図るとともに、既存の製商品につきましても積極的な医薬情報活動を推進いたしました。

研究開発面では、昨年4月にグルファストの効能追加（インスリン抵抗性改善剤との併用療法：武田薬品工業株式会社との共同開発）の承認申請を行い、昨年6月にユリーフの剤型追加（第一三共株式会社との共同開発）の承認申請を行いましたほか、各テーマの研究開発を推進いたしました。また、本年1月にはニューマバートナズ社（米国）が急性呼吸窮迫症候群の治療薬として開発を進めているカルファクタント（一般名）につきまして、国内での研究開発及び販売権を取得する契約を締結いたしました。

このほか、グルファストにつきまして昨年6月にアセアン諸国における独占的開発権及び販売権をエーザイ株式会社に供与する契約を、昨年9月には同剤の中国における独占的開発権及び販売権を同社に供与する契約をそれぞれ締結いたしましたほか、当社が創製し販売しております抗アレルギー薬「トラニラスト（製品名：リザベン®）」につきまして昨年7月にニュオンセラピューティクス社（米国）と多発性硬化症などの自己免疫疾患を含む領域における研究開発及び製造販売に関する契約を締結いたしました。更に、当社が創製し海外に技術導入しております前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（日本製品名：ユリーフ）につきまして、本年2月にワトソン社（米国）より米国食品医薬品局へ新薬承認申請されております。

その他の事業におきましては、グループとしての相乗効果の向上を課題に、事業内容の再編成等に積極的に取り組んでおります。当連結会計年度におきましては、連結子会社株式会社ハシバ920と非連結子会社キッセイテクノス株式会社が昨年4月1日付で合併し、ハシバテクノス株式会社と商号を変更しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は614億8千万円（前連結会計年度比4.3%減）、営業利益は42億6千9百万円（同61.4%増）、経常利益は42億5千7百万円（同68.9%増）、当期純利益は23億2千5百万円（同48.1%増）の業績となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、医薬品事業におきましては新製品のユリーフ、グルファスト、サラジェンや技術料売上などが増加いたしましたほか、平成18年9月に血糖自己測定システム「フリースタイルキッセイ」の販売を終了いたしましたことや、パーキンソン病治療薬「カバサル®錠」が昨年4月の添付文書改訂の影響を受けて大幅に減少いたしましたほか、既存製品が後発品・競合品による影響などにより減少いたしましたことなどにより、売上高は547億6千7百万円で前連結会計年度比1.5%の減収となりました。その他の事業におきましては、情報サービス業における売上が堅調に推移しましたものの、物品販売業における建築関連資材などの販売や建設請負業における建築工事において売上が減少し、売上高は67億1千2百万円で前連結会計年度比22.3%の減収となりました。

### 次期の見通し

医薬品業界は、本年4月に実施されました薬価改定、診療報酬改定、後発品使用促進施策、後期高齢者医療制度の施行などの一連の医療制度改革により、引き続き厳しい環境下にあります。その他の事業におきましても、景気の先行き不透明感が強まる中、価格競争など依然として厳しい業界環境が継続するものと予想されます。このような情勢の中で当グループは、グループとしての相乗効果が発揮できる経営体質の確立を目指し、また、これまでの研究開発などへの投資の成果を結実させ、収益性の改善に取り組んでまいります。

次期の業績につきましては、売上高633億円、営業利益49億5千万円、経常利益53億5千万円、当期純利益31億5千万円を目標に業績の確保に努力いたします。

### 対処すべき課題

製薬業界を取り巻く経営環境は激変の最中にあります。国家財政の逼迫を背景として医療保険制度の再構築が検討され、国内の医療用医薬品市場は今後も低成長に留まる見通しです。また、世界的に新薬シーズが枯渇している一方、技術革新によりバイオ医薬品を始めとする新たなカテゴリーの医薬品が台頭し、新薬開発競争はますます熾烈を極めております。

このような経営環境下において、存在価値・意義のある創業研究開発型企業として更なる成長のステージに進むべく、①国内医療用医薬品市場における確固たるマーケティング基盤の構築、②新薬を継続して発売できる研究開発体制の構築、③新たな収益基盤としての創業によるライセンス収入の確立と拡大、④会社機能の強化・補完、効率化のための戦略的なアライアンスの推進、⑤グループ各社の事業構造改革とシナジー効果の創出によるグループ経営基盤の強化、を対処すべき課題として認識し、取り組んでまいります。

## 研究開発の状況

技術革新と国際化の急激な進展により、研究開発テーマの評価基準と承認審査のハードルは高くなっています。このような状況下において、当社は経営ビジョン「創薬研究開発型企業」を実現するために、創薬研究の基盤強化、最優先テーマの早期承認取得及びR&Dパイプラインの充実強化を推進しております。

（平成20年5月現在）

### 自社

開発段階	製品名/一般名/開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用	備考
承認申請中	グルファスト® /ミチグリニド	創製品/武田薬品工業共同開発	2型糖尿病における食後血糖推移の改善（インスリン抵抗性改善剤との併用療法）	速効・短時間型インスリン分泌促進作用	効能追加
	ユリーフ® /シロドシン	創製品/第一三共共同開発	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用	剤型追加（錠剤）
第Ⅱ/Ⅲ相	JR-013	導入品/日本ケミカルリサーチ共同開発	透析施行中の腎性貧血	赤血球増加作用	
第Ⅱ相	KUC-7483	創製品	過活動膀胱	β3受容体刺激作用	
第Ⅱ相準備中	KLS-0611	創製品	ドライアイ	涙液・ムチン分泌促進作用	
第Ⅰ相	KGT-1681	創製品	2型糖尿病	SGLT2阻害作用	
	KPS-0373	導入品/塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン（TRH）作用	

### 導出

開発段階	一般名/開発番号	導出先	導出先権利許諾地域	予想される適応症	主な作用
承認	シロドシン	チョンウェ製薬（韓国）	韓国	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用
	ミチグリニド	ヒクマ（ヨルダン）	中東	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
承認申請中	シロドシン	ワトソン（アメリカ）	アメリカ、カナダ、メキシコ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用
	ミチグリニド	エーザイ（日本）	*1中国 アセアン（10ヵ国）	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
第Ⅲ相	シロドシン	レコルダッチ（イタリア）	欧州、中東、アフリカ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1A受容体拮抗作用
		第一三共（日本）	中国		
	シンモサ（台湾）	**2台湾、香港			
ミチグリニド	エリキシア（アメリカ）	北米、中米、南米	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用	
	オリエントユーロ（台湾）	**2台湾、香港			
第Ⅲ相準備中	ミチグリニド	USV（インド）	**2インド	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
第Ⅱ相	KGT-1681	グラクソ・スミスクライン（イギリス）	日本、韓国、中国、台湾を除く全世界	2型糖尿病	SGLT2阻害作用
	KUR-1246	メディシノバ（アメリカ）	日本を除く全世界	喘息の急性発作、切迫早産	β2受容体刺激作用
第Ⅰ相	KGT-1681	グラクソ・スミスクライン（イギリス）	日本、韓国、中国、台湾を除く全世界	肥満	SGLT2阻害作用
	KGA-3235	大日本住友製薬（日本）	日本	2型糖尿病	SGLT1阻害作用

※1：承認取得まではキッセイ

※2：第Ⅲ相臨床試験からの開発（第Ⅰ相及び第Ⅱ相臨床試験はスキップ）

# 財務諸表（連結）

## ●連結貸借対照表

(単位：百万円)

期別 科目	前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成20年3月31日現在)	期別 科目	前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成20年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	93,720	85,557	流動負債	21,145	26,415
現金及び預金	33,480	12,067	支払手形及び買掛金	9,548	4,352
受取手形及び売掛金	27,990	23,420	短期借入金	2,493	2,332
有価証券	14,142	33,881	1年以内償還予定転換社債	—	12,091
たな卸資産	10,876	10,120	未払法人税等	1,211	1,136
繰延税金資産	1,880	1,914	賞与引当金	1,442	1,865
その他	5,402	4,236	その他の引当金	908	863
貸倒引当金	△52	△81	その他	5,539	3,773
固定資産	69,863	65,008	固定負債	19,205	5,375
有形固定資産	30,630	29,585	転換社債	12,191	—
建物及び構築物	12,393	12,655	長期借入金	82	403
土地	13,402	13,440	繰延税金負債	2,027	—
建設仮勘定	1,854	79	退職給付引当金	3,455	3,384
その他	2,980	3,410	役員退職慰労引当金	1,447	1,585
無形固定資産	3,861	3,100	その他	1	1
投資その他の資産	35,371	32,321	負債合計	40,351	31,791
投資有価証券	31,878	27,717	<b>(純資産の部)</b>		
長期貸付金	615	593	株主資本	115,744	116,635
長期前払費用	865	312	資本金	24,221	24,271
繰延税金資産	371	1,666	資本剰余金	24,114	24,164
その他	1,751	2,145	利益剰余金	71,527	72,407
貸倒引当金	△111	△113	自己株式	△4,119	△4,207
資産合計	163,583	150,566	評価・換算差額等	7,357	1,985
			その他有価証券評価差額金	7,357	1,985
			少数株主持分	131	153
			純資産合計	123,232	118,775
			負債純資産合計	163,583	150,566

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結損益計算書

(単位：百万円)

期別 科目	前連結会計年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	64,215	61,480
売上原価	28,018	22,800
売上総利益	36,196	38,680
販売費及び一般管理費	33,551	34,410
営業利益	2,645	4,269
営業外収益	693	1,002
営業外費用	818	1,014
経常利益	2,520	4,257
特別利益	1,049	951
特別損失	396	737
税金等調整前当期純利益	3,173	4,471
法人税、住民税及び事業税	1,787	1,838
法人税等調整額	△221	284
少数株主利益	36	22
当期純利益	1,570	2,325

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結株主資本等変動計算書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
平成19年3月31日残高	24,221	24,114	71,527	△4,119	115,744	7,357	7,357	131	123,232
連結会計年度中の変動額									
新株の発行	49	49	—	—	99	—	—	—	99
剰余金の配当	—	—	△1,519	—	△1,519	—	—	—	△1,519
当期純利益	—	—	2,325	—	2,325	—	—	—	2,325
自己株式の取得	—	—	—	△89	△89	—	—	—	△89
自己株式の処分	—	0	—	0	1	—	—	—	1
合併による増加高	—	—	73	—	73	—	—	—	73
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△5,371	△5,371	22	△5,348
連結会計年度中の変動額合計	49	50	879	△88	891	△5,371	△5,371	22	△4,457
平成20年3月31日残高	24,271	24,164	72,407	△4,207	116,635	1,985	1,985	153	118,775

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

期別 科目	前連結会計年度 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,958	6,306
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,594	△3,054
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,246	△1,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△6
現金及び現金同等物の増減額	△5,692	1,797
現金及び現金同等物の期首残高	49,647	43,954
合併に伴う現金及び現金同等物の受入高	—	122
現金及び現金同等物の期末残高	43,954	45,874

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 財務諸表（個別）

## ●貸借対照表

（単位：百万円）

科目	期別 前 期 (平成19年3月31日現在)	当 期 (平成20年3月31日現在)	科目	期別 前 期 (平成19年3月31日現在)	当 期 (平成20年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			<b>(負債の部)</b>		
流動資産	88,340	82,838	流動負債	15,484	23,097
現金及び預金	30,788	11,347	買掛金	5,802	2,908
受取手形	62	27	短期借入金	1,152	1,150
売掛金	26,568	22,208	1年以内償還予定転換社債	—	12,091
有価証券	14,142	33,881	未払金	4,327	2,893
たな卸資産	9,775	9,557	未払法人税等	913	1,029
繰延税金資産	1,721	1,775	賞与引当金	1,161	1,602
その他	5,325	4,085	その他の引当金	908	863
貸倒引当金	△45	△45	その他	1,218	559
固定資産	69,272	63,529	固定負債	18,802	4,586
有形固定資産	30,147	28,234	転換社債	12,191	—
建物	11,719	12,142	長期借入金	17	15
土地	12,450	12,488	繰延税金負債	1,986	—
その他	5,978	3,603	退職給付引当金	3,219	3,096
無形固定資産	3,571	3,181	役員退職慰労引当金	1,387	1,475
投資その他の資産	35,553	32,113	負債合計	34,287	27,683
投資有価証券	31,953	27,805	<b>(純資産の部)</b>		
繰延税金資産	—	1,274	株主資本	115,973	116,697
その他	3,711	3,147	資本金	24,221	24,271
貸倒引当金	△111	△113	資本剰余金	24,114	24,164
資産合計	157,613	146,368	利益剰余金	71,757	72,469
			自己株式	△4,119	△4,207
			評価・換算差額等	7,352	1,986
			その他有価証券評価差額金	7,352	1,986
			純資産合計	123,326	118,684
			負債純資産合計	157,613	146,368

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●損益計算書

（単位：百万円）

科目	期別 前 期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	当 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	科目	期別 前 期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	当 期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	55,579	54,767	経常利益	2,011	3,877
売上原価	21,189	17,719	特別利益	1,049	954
返品調整引当金戻入額	17	19	特別損失	316	676
返品調整引当金繰入額	19	24	税引前当期純利益	2,744	4,154
売上総利益	34,387	37,043	法人税、住民税及び事業税	1,480	1,600
販売費及び一般管理費	32,299	33,243	法人税等調整額	△106	322
営業利益	2,088	3,800	当期純利益	1,370	2,231
営業外収益	809	1,080			
営業外費用	886	1,003			

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ●株主資本等変動計算書

（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）

（単位：百万円）

	株主資本								評価・換算差額等		純資産合計		
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	利益剰余金合計						
平成19年3月31日残高	24,221	24,111	2	24,114	940	68,100	2,716	71,757	△4,119	115,973	7,352	7,352	123,326
事業年度中の変動額													
新株の発行	49	49	—	49	—	—	—	—	—	99	—	—	99
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△1,519	△1,519	—	—	△1,519	—	—	△1,519
当期純利益	—	—	—	—	—	2,231	2,231	—	—	2,231	—	—	2,231
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	△89	△89	—	—	△89
自己株式の処分	—	—	0	0	—	—	—	—	0	1	—	—	1
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△5,366	△5,366	△5,366
事業年度中の変動額合計	49	49	0	50	—	—	712	712	△88	724	△5,366	△5,366	△4,642
平成20年3月31日残高	24,271	24,161	2	24,164	940	68,100	3,428	72,469	△4,207	116,697	1,986	1,986	118,684

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 製商品の紹介

### ●主な医療用医薬品

<b>その他代謝用薬</b>	グルファスト錠	糖尿病治療薬
<b>神経系用薬</b>	カバサル錠	パーキンソン病治療薬
<b>感覚器官用薬</b>	リザベン点眼液 リズモンTG点眼液	アレルギー性結膜炎治療薬 緑内障・高眼圧症治療薬
<b>循環器官用薬</b>	ベザトールSR錠 キサンボン注 シナロング錠	高脂血症治療薬 脳循環改善薬 血圧降下薬
<b>消化器官用薬</b>	サラジェン錠 ガスコン アラント	口腔乾燥症状改善薬 消化管内ガス駆除薬 胃・十二指腸潰瘍治療薬
<b>ホルモン・泌尿生殖・血液体液用薬</b>	ユリーフカプセル ウテメリン フラグミン静注 ゾラデックス1.8mgデポ フルスタン錠	排尿障害改善薬 切迫流・早産治療薬 血液凝固阻止剤 子宮内膜症治療薬 活性型ビタミンD <sub>3</sub> 製剤
<b>アレルギー用薬</b>	リザベン ドメナン錠	アレルギー性疾患治療薬 気管支喘息治療薬

### ●主なヘルスケア食品

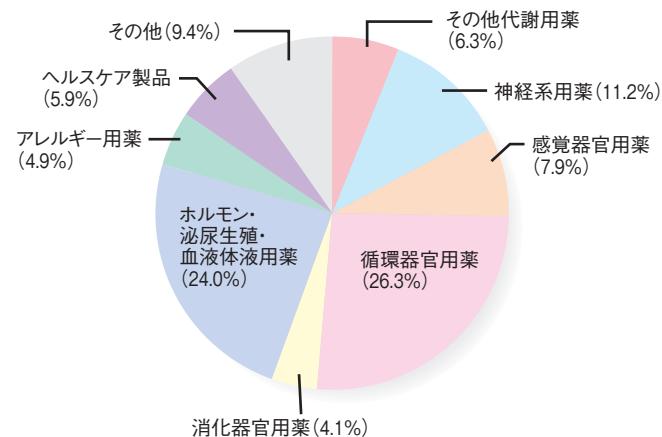
#### 高齢者・介護補助食品

スルーキング・・・お茶やジュース等の飲み物や食品の種類及び温度に関係なく、安定したとろみがつけられるとろみ調整食品です。無色でにおいも味もなく、食品の風味を損ないません。

スルーソフトS・・・液状食品やキザミ食に、温度に関係なくお好みの自然なとろみがつけられるとろみ調整食品です。においも味もなく、食品の風味を損ないません。

やわらかカップ・・・テリーヌ風においしくとろけるようなやわらかさに仕上げました。うなぎ、ほたて風味、かに風味、いわし、いとより鯛、ポークしょうが焼きがあります。また、たんぱく質を強化した、ぶり大根風味、さばの味噌煮もあります。

### ●売上高比率 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)



#### エネルギー補給食品

カップアガロリー・・・1食で150kcalのエネルギー、100mgのカルシウムが補給できます。味の種類はマスカット、オレンジ、ウメ、カリン、リンゴ、モモ、ストロベリー、ブルーベリーがあります。

マクトンシリーズ・・・効率的に体内に吸収されエネルギーとなる中鎖脂肪酸を用いたエネルギー補給食品です。手軽に召し上がれるクッキーなどのほか、様々な料理にお使いいただけるオイル、パウダーもあります。

#### たんぱく質、リン、カリウム調整食品

ゆめごぼん・・・たんぱく質を抑えたおいしいパック入りごはんです。温めてそのまま召し上がりいただけます。

げんたうどん・そば・そうめん・・・たんぱく質、リン、カリウムを低減した、厚生労働省許可特別用途食品（低たんぱく質食品、腎不全患者用）です。

## トピックス

### 新中期経営計画「チェンジングプラン」スタート

平成20年4月より計画期間を3ヵ年とする新中期経営計画「チェンジングプラン」をスタートさせました。今後ますます熾烈化する市場競争の中で創業研究開発型企業として、以下の基本方針の下に、「新薬の育成」、「安定的な海外収益基盤の確立」、「新たなカテゴリーであるバイオ医薬品市場への参入」を果たすことにより収益性を改善し、そして次代の成長のための戦略的な研究開発パイプラインを構築し、継続的に新薬を創出する体制の確立を目指します。

- ①新薬3製品（ユリーフ、グルファスト及びサラジェン）の育成を進めるとともに、バイオ医薬品市場への参入を果たし、国内医療用医薬品市場における収益力を高める。
- ②当社創製品の欧米における技術導出先による発売を確実に実現するとともに、オリジネーターとして市場拡大に向けた活動を推進し、安定的な海外収益基盤を確立する。
- ③あらゆる観点から効率性を追求する施策を講じ、一人当たり営業利益を伸ばさせて生産性の高い事業構造を構築し、この収益基盤を背景として創業研究ならびにライセンスイン活動を活発に展開して、長期ビジョンに基づく研究開発パイプラインの充実を図る。
- ④会社構成員が夢や働き甲斐を感じ、自己実現のために努力する風土を醸成するとともに、ステークホルダーとの良好な関係の維持、社会規範の遵守に努める。



### 効能追加

平成19年10月19日付にて、「サラジェン錠」の「シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善」の効能追加の承認を取得いたしました。

本剤は、当社がエム・ジー・アイ・ファーマ（アメリカ）から導入し、平成17年9月より「頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状の改善」の効能・効果で販売している唾液分泌促進剤です。

シェーグレン症候群は、唾液腺や涙腺などの外分泌腺に慢性的な炎症が起こる自己免疫疾患で、40～60代の女性に多くみられます。唾液分泌の減少により口腔乾燥感や会話障害、口内の痛み、摂食障害、睡眠障害などが現れ、患者さんのQOL（生活の質）は著しく低下します。

本剤は生理的な唾液分泌を促進して口腔乾燥症状を改善し、患者さんのQOL改善に大きく貢献するものと期待されています。



## 株式の状況

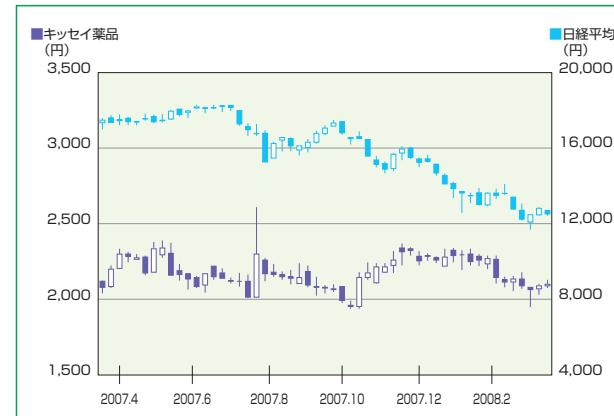
発行可能株式総数 227,000,000株  
 発行済株式の総数 56,838,791株  
 株主数 3,190名 (前期末比増減 379名減)

### ●大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
第一生命保険相互会社	3,418千株	6.3%
有限会社カンザワ	3,178	5.9
神澤邦雄	2,702	5.0
株式会社みずほ銀行	2,670	4.9
株式会社八十二銀行	2,670	4.9
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金信託口)	1,938	3.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,806	3.3
神澤陸雄	1,469	2.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,442	2.7
鍋林株式会社	1,219	2.2

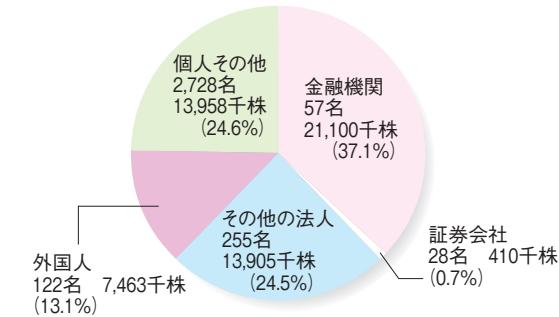
(注) 当社は自己株式2,579,849株を保有しております。

### ●株価チャート

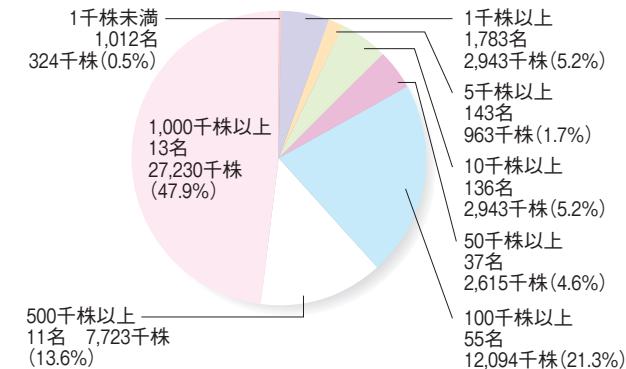


(平成20年3月31日現在)

### ●所有者別分布



### ●所有株数別分布



## 会社の概要

(平成20年3月31日現在)

社名 **キッセイ薬品工業株式会社**  
 英文名称 **KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.**  
 設立 昭和21年8月9日  
 資本金 24,271,156,164円  
 主要事業内容 医療用医薬品の製造販売  
 本社 長野県松本市芳野19番48号  
 電話 (0263) 25-9081 〒399-8710  
 東京本社 東京都中央区日本橋室町一丁目8番9号  
 電話 (03) 3279-2761 〒103-0022  
 東京本社(小石川) 東京都文京区小石川三丁目1番3号  
 支店 札幌支店、仙台支店、関越支店(さいたま市)、東京支店、横浜支店、松本支店、名古屋支店、京都支店、大阪支店、高松支店、広島支店、福岡支店  
 (注) 支店の下に35営業所を設置しております。  
 工場 松本工場、塩尻工場(物流センター含む)  
 研究所 中央研究所・第二研究所・製剤研究所(長野県安曇野市) 上越化学研究所(新潟県上越市) ヘルスケア事業センター(長野県塩尻市)  
 従業員数 1,543名

役員  
 代表取締役社長 神澤邦雄  
 代表取締役副社長 神澤陸雄  
 取締役副社長 岩垂正矩  
 専務取締役 斎藤浩  
 専務取締役 味澤幸義  
 常務取締役 薄田利秋  
 常務取締役 柳澤圭一郎  
 取締役 降旗征一郎  
 取締役 熊澤潔  
 取締役 足立寿喜夫  
 取締役 赤羽増夫  
 取締役 富澤輝雄  
 取締役 御子柴今雄  
 取締役 佐藤公哲  
 取締役 矢花哲夫  
 取締役 久保嘉夫  
 取締役 北澤信長  
 取締役 小池肇

### HPのご案内

タイムリーな情報をウェブサイトで提供しています。



URL : <http://www.kissei.co.jp/>

### アニュアルレポート

ホームページ(English Page)にも掲載しています。



### 社会・環境報告書

環境への取り組みを「社会・環境報告書」としてまとめています。



資料請求のご連絡先: 広報部 TEL: 0263-25-9523 (土日祝日、当社休日を除く月～金 8:40～17:20)